

図書館基本計画・展望計画の概要をお知らせします。

図書館基本計画・展望計画は十年後の図書館の姿を示しています。今後は、毎年度、計画の実施状況について評価を行い、結果を公表します。

計画は、事業計画、職員組織計画、施設計画から成ります。今号では、各サービス部門の事業計画の概要をお知らせします。

なお、本計画を受けて、二十一年度は、①図書館基本計画・展望計画の推進と事業評価、②第二期図書館管理システムの運用、③レファレンス・サービスの拡充、④子ども読書推進計画の実施、⑤図書館の所蔵する歴史的資料の修復及び保存・活用の五事業を重点事業として実施していきます。

成人サービス

市民の多様なニーズに応え、暮らしに役立つ資料から日常の仕事に必要な知識やキャリアアップに役立つ資料など、さまざまな課題解決を支援する幅広い資料・情報の提供に努めていきます。

一般図書サービスでは、市民の課題解決を支援するための資料や情報を提供します。また、子育て世代・高齢者世代・ビジネスパーソン・主婦層・青年層・外国人といった対象者別に新たなサービスの展開を図ります。さらに、本に対する質問にお答えで

きる職員の育成に努めます。

逐次刊行物サービスでは、市民満足度調査に基づく資料収集計画を策定し、適正な資料の収集・保存に努めていきます。また、データベースを改善し、所蔵雑誌の検索がよりスムーズにできるよう整備します。

視聴覚資料サービスでは、録音資料の収集範囲を拡大し、映像資料の収集・提供を開始します。さらに、技術革新に留意し、新しい記憶媒体の視聴覚資料の調査・研究に努めます。

二十一年度の予定として、一般図書サービスでは、対象者別にどのようなサービスを展開していくかの調査研究を始めます。逐次刊行物サービスでは、雑誌の保存期限につい



保谷駅前図書館・おはなし会

て見直しを図ります。視聴覚資料サービスでは、寄贈された映像資料の提供を始めます。

レファレンス・サービス

レファレンス・サービスは、市民の調査・研究の支援、情報提供を行います。サービスの充実を図るため、レファレンス資料の整備を進めます。質問への回答にあたっては、適切な資料・正確な情報の提供を行います。回答事例は公開し、事例集の発行を行います。新しいサービスとして、Webレファレンス、利用者向けレファレンス講座を実施します。基盤の強化として、レファレンス室の整備や専任職員の配置を進めていきます。

二十一年度は、二十二年度の本実施にそなえて、Webレファレンスを試行します。

児童サービス

児童サービスでは「子どもの読書環境を整備し、子どもたちに本の楽しさを伝えます」を基本方針として、それに基づいた資料計画・サービス計画を策定しました。資料計画では、基本図書の買い替えに重点をおきながら、団体貸出用資料や、紙芝居・大型絵本の充実、外国語絵本の購入、ヤングアダルト世代を意識した資料収集を挙げています。サービス計画では、①子どもと本を結びつける、

②児童書や児童の読書に関する質問に答える、③西東京市の子ども読書活動としての拠点となる、④子どもやその保護者が本とふれ合う場所を提供する、の四つの役割を掲げました。

近年、学校での読み聞かせ活動の活発化や図書館でのおはなし会の拡充にともなって、子どもの読書活動にかかわるボランティアの人数も増加してきました。子どもだけではなく、子どもの読書活動にかかわる大人への支援の充実を図ることも今後の重要課題になっています。

二十一年度は引き続き「西東京市子ども読書活動推進計画」に基づいた、子どもの読書環境の整備の推進を図るため、行事の充実や専門的職員の育成に努めるとともに、前述した大人との連携・支援を図っていきます。また、ヤングアダルト世代へ向けては、紹介冊子の共同編集について検討し、実施計画を作成します。

子どもを知る・子どもの本を知る・子どもと本を結びつける。担当者はこの姿勢を忘れずに、子どもたちに本の楽しさを伝えていきます。

地域・行政資料室

地域・行政資料室は、郷土に関する専門図書館をめざしています。

地域・行政資料サービスとは、西東京市に関する情報を求める市民の皆様、必要な資料や情報を提供するものです。このため地域固有の資料